

一般質問(3)

二度と悲劇は繰り返さない！  
子どもの命を守り抜く決意！

浜中 のりかた(自民)

児童虐待根絶のために通告義務の周知徹底を！

市内中学生の自殺事件で、何ゆえ、教育現場において、法に基づく虐待通告がされなかったのか。

学校による通告がされなかった要因はさまざまである。今後、虐待にかかわる教員研修のあり方を見直し、意識改革を図るとともに、虐待における学校の組織的な対応を充実させる。

事件の原因究明と再発防止への取り組みが我々の責務である。虐待として見分けが難しいのは事実であるが、虐待への感度を市全体で高め、二度とこ

のようなことが起こらないように努めるよう、呼びかけよ。

1市2庁舎体制解消！

庁舎統合方針決定へ！

今年度中にいされる庁舎統合方針には具体的な場所まで含まれるのか。

庁舎の場所も含めて庁舎統合方針を決定することを旨とする。

4年前の市議選でこの問題を取り上げたのは、私を含めて3人しかおらず、状況が大きく変わったことは感慨深い。庁舎統合は待ったなしの状態であり、これを先送りすることは子孫にツケを回すのと同じことである。

障害者支援など福祉の充実と  
まちづくりの推進で地域活性化を

酒井 豪一郎(自民)

公園行政について

多様化する公園ニーズに対し、民間ノウハウにより公園を活性化すべきだ。指定管理者制度の活用は。

導入に向け検討する。飼い主も参加できる犬のイベントの進捗状況は。

犬のしつけ教室を10月に実施する。

ヘルプマークについて

内部障害や難病の方に有効なマークだ。公共施設や、はなバスで活用すべき。

今後、普及に努める。障害福祉施策について

他市の作業所に通うために市の移動支援サービスを使えないか。

提案を踏まえ、さまざまな角度から検討する。

保谷町市民集会所について

地域に類似施設がなく使いづらい。コミュニティ活性化のために早く施設整備を。

検討する必要がある。西武柳沢駅周辺のまちづくりについて

駅周辺は道路環境の整備が進まず利用しにくい。第四次事業化計画の状況は。

地域の皆様方の意向を踏まえ検討を進めていく。その他質問等

商店街の現状把握について  
農業者の直売所経営の支援について

保谷中学校への夜間照明設置を  
はなバス 新ルートの検討を

稲垣 裕二(自民)

東伏見駅南口は石神井川、東伏見公園、下野谷遺跡公園、計画道路などさまざまな要因があるが、どのようなまちを目指すのか。

東京都、地域の方々と連携し一体的な整備を検討する中で、下野谷遺跡も

地域資源として活用し、まちづくりにつなげたい。

「はなバス」の東伏見駅からひばりヶ丘駅までの直通ルート創設の検討を。

提案のルートも含め、運行経路の見直しを進める。保谷中学校への照明

健康寿命の延伸について  
防止に関する条例制定について

田中 のりあき(自民)

政府は平成32年までに健康寿命を1年延伸することや、40歳から74歳までの特定健診の受診率を80%とする目標を掲げたが、西東京市ではどのような対策を考えているのか。

平均寿命と健康寿命の差が課題である。引き続き受診率の向上策を講じるとともに、わかりやすい健康情報の発信を行う。

60歳以上の特定健診の受診率の向上が、課題の一つだが対応を問う。

特定健診に関する周知や受診勧奨等については、健康応援ニュース等を活用

対策検討委員会を庁内に立ち上げた。学校と保護者、地域及び関係機関が連携した組織のあり方や教育委員会と市長部局の連携に関して、他市の状況を踏まえ、検討を進める。

AEDマップを改善し、AEDの  
所在地をもっとわかりやすく

保谷 なおみ(自民)

がん検診とがん教育について

豊島区ではがん教育で、がん検診受診率を上げている。見習うべきでは。

平成26年4月に保健主任会で、日本対がん協会作成の資料をもとに研修を実施した。

国の進めるがん教育は、子どもへの教育を通じて、大人のがんに対する理解を深めるという意図がある。学校現場の負担をできるだけ軽減するため、市長部局が積極的に協力すべき障害のある子どもへの支援体制について

府中市では、ごみ収集車にAEDを搭載した。同様の取り組みをすべきではないか。

市内公共施設106カ所にAEDは設置してあり、民間施設

施設設置の取り組みは。実施の有効であり、教育委員会と調整し検討を進める。教育委員会では、庁内調整会議を開催し意見交換を行っている。

J Aと協議し、地場産農産物を活用したカフェ等の創設は。

まちの魅力発信源としての機能を有するもので

あり意見交換を行っていく。統合庁舎について

暫定的な対応を取った場合のその後の計画、また実態に即した建設単価はいつごろ示すのか。

暫定策ならその先のビジョンを示す必要がある。決定時に建設費を検証する。建設費が増額した場合の基金の考え方は。

改めて検証を行う。

もしにくい環境だと聞いている。解決策を問う。

ペア・ピアカウンセリングの実施に向けた検討を始めたかと考えている。

AEDの公用車への搭載について

府中市では、ごみ収集車にAEDを搭載した。同様の取り組みをすべきではないか。

市内公共施設106カ所にAEDは設置してあり、民間施設



田無庁舎内設置のAED

映画を利用したまちづくり  
市内溢水対策について

小林 たつや(自民)

市内で活躍している

「西東京シネマ倶楽部」との文化芸術振興の面からの協働と、映画などのロケ地の紹介や誘致を行う「フィルムコミッション事業」に関しての見解は。

「西東京シネマ倶楽部」は、「市民名画座」や全国規模となった「自主映画制作コンペティション」などの活動を行っている。

こもれびホールとの意見交換を行っている中で、「西東京シネマ倶楽部」との協働もこの中で検討していく。「フィルムコミッション」に取り組み自治体が増加していることは承知している。市の地域資源のPRとして

も関連するものとして考えている。

商工会も巻き込んだまちづくりとして、「西東京シネマ倶楽部」と「フィルムコミッション事業」で西東京市の名がますます有名になることを望む。

市内溢水地域について対策は。

ひばりが丘4丁目、所沢街道からの流入がある。保谷町5丁目は、基本設計中である。フラワー通り周辺は、布設工事を終えているが、田無二中からの流出が考えられる。

異常気象も原因かと思うが、今以上の早急な対応を強く願う。



東伏見駅南口(東伏見2丁目)